磐城新聞 夕刊

三月十一日發行

定價 一ケ月金五拾五錢（郵稅共金六拾五錢）
廣告料 普通欄 金六拾錢 特別欄 金九拾錢（五號十二字詰一行一回）
發行所 磐城新聞合資會社
電話五六四番

（日曜祭日翌日休刊）

マドロスの便り（二）

前田勝江

然り陳腐な言葉だが夢と云ふのが一番適切だ！出帆と云ふ寂しみを踊つて吞んで、その醉の醒め切らない內に出帆して（それでも二時の出帆が四時に延びて）ホットした時の氣分！でも醉が醒めて、機關の音に驚いて甲板に上つて見た時すでにシェルドを十哩近くも下つて安土府の例の時計ムルが朝靄の中に灰色に浮んでゐるのを見た時の寂しみ……それにMARIRに――私がシャーロッテと呼んでゐた女さ、ダル公の――優しく慰められて、涙を流して扉のかげで思ふさま堅く抱き締めてFAREWELL KISSESを交したのもあの晩だつた。思へばあの女とも亦會ふ時が來るかどうか情熱そのもの丶様な女だつたが……あ夜は小雨が降つて居たつけ、リバーサイドの岸壁は暗に包まれて酒場の軒先の光と石疊のペーブがシットリと濡れてゐたねそしてその雨に濡れた薔薇の一束をかざしてバーへ入つて行き、女達の胸につけて、シャンパンとビーアとジャズと煙草の煙の中に君の新しいエナメルシユースの切れだのも知らないで騒いだのも思ひ出す。

さうさ、憶をのみ追ふて暮してゐるんだよ、時々嘲けりたくなる氣がするさね

今の私はとても卑屈になつてゐるんだ。それでもそれらの追憶は私に和かな感情と憶を持たせてくれるよ。詫しい今の生活に華かさを求むる心、あの頃の私の様に醉ひしれて美人と戯れる人々を見る私の心、我が謙ちやんは良く解つて吳れると思ふ。ロッテルダムのアルケズア舞踏場で一面識もない立派なお嬢さんにパアトナーになつてもらつて臆面もなく踊り飛んだ大石君は太洋丸以來どうしてゐるかしら？ 神戸の山村のお高ちやんに思ひ込まれてゐた田代君は？ それにこの手紙を受取る兄は、若しや今頃いつでも云つてゐた様に歐洲の山河をトラムパアとして流れてゐるんぢやないかしら？ 私が××に暮してゐる內に――私と喜美子との燃え切つて了ふと思はれた戀の終局も私の××生活で終りをつげた様に思はれる。

あの時分の――今となつては平靜にかん察出來るが――事はサラリと忘れて、いさゝかの不快な印象も與へて吳れなかつた歐洲に向つて船出したい。戀を失つたからではない。ナンデこんな國に執着があるもんか波を枕に遠く離れて見る故國の夢こそ懷しいと言ふものだ。

このままに

えいさぶらう

今宵ふれた
古傷に……
胸はむせんでゐるばかり
話してあげ様と
いふ人の情にからんだ
古傷にけど
行きつゝ難むこの道に
どうせこのまゝおいてくれ

磐新歌壇

小山田滋選

『冬の山川』　栗原北斗

○此の山の落葉踏み分け草を刈る大き男のほうかむり見ゆ
○ぽきぽきり枯枝おろす若者の歌聲ひびくこゝの杉山
○うす暗き杉森山の籔柑子つぶらなる實の赤々と見ゆ
○落葉して明るし楢の木の枝に白々と見ゆ鳥の糞かも
○吹く風にかさかさ葉ずれ音のするくぬぎ林は枯葉つけをり

雪國吟（二）

島田、忠夫

○降りやまぬ雪と思へや溪川も埋みつくして水音はせず
○スキーにて煙草買ひ來し宿のあるじ雪にしばしば倒れしと言ふ
○うつし身の音が寂しくて雪國の山の湯宿に晝も寢つづく
○赤化教員多くいだせる信濃の國の教員のきびしき質問に遭ふ
○われつひに一人と思へ雪うづむ山の湯宿に深酒をしぬ
○雪國の宿に夢みぬ炎城のくすし里川の君を夢に見ぬ
○夢に見る市原里川の顏したしわれど酒くむ夢ならしも
○ロータリー除雪列車は八九尺の雪の線路に雪吹き散らす

拈華微笑

結局有耶無耶で烏か。バンちうこんだい
◇
一時は暴力行爲取締令なんて事になりはせぬかと心配した
◇
六十の老人も經驗が無いと云ふ今度の大雪。
◇
此分だと石城にもウインタースポーツ出現
◇
銀盤に踊る。なんて事にならう
○……○

淸らといふ言葉故
私しや歸らう
このまゝに。

歎きのポーズ

古川哲夫

さゝ波の立つ夕暮の水海は、
呼吸づき波立つてゐる
太陽の赤い唇は
やせこけた野邊の小川に
接してゐる――。
初戀のどよめきは
胸一杯に擴がり
ぢつと默つてゐる。彼の
子の
胸んなかに
今日から明日への
力が響く

社會の今日

○

3月12日――△水戸烈公生る（寛政一二）△日曜日を休暇とす（明治九）△關東地方大暴風警察消燈令を出す（昭和五）△瑞典マッチ王クロイゲル氏自殺（同七）

三條の紅屋に入れば膝の上の、糸屑はたき出で來し少女　川田順

岩と云ふ岩に鳥見つ春の海　冬葉

講談 お蘭陀お蝶

(273)　渡邊默禪作　布施長春畫

二百年後の奇遇にお菊も乾見も夢のやうな心地がして二人の顏を眺めてゐた

牛が淵の楊の上で喜び鴉が啼いた

お玉が池の一大道場、千葉周作の養女に光といふのがあつた、美人で而も武藝の達者門弟共は『今巴』とあだ名を呼んでゐた

神田のお玉が池といふのは、松下町松ヶ枝町附近の總稱で、地名の由來に面白い傳說的事蹟があるから少しぼかり知つたか振をする

永祿年間の江戸圖を見ると、神田村の邊に大きなみづうみがある、不忍池などに數倍する面積らしい、岸に櫻があつたので『櫻ヶ池』と唱へた、その櫻の下にお玉と呼ぶ美人が現れて往來の旅人に茶を侑めた、無論問題になつて大勢の大野郎さまの血を湧き立てさせたその中で二人の星の子達の子があつた。その表情新体詩以上であつた、ミスお玉は迷つた、どつちへ靡いて好いかと問へた。遂に双方への義理を立てるには死ぬより外はないと、いはゆる時代思想に囚はれた、色は散らしに限るの明治婦人的アイデアは其の頭には無かつた、五目鮨の戀は嫌ひであつた、さうして身を投げた、直ぐそこに池がある、華厳の瀧に行く必要はなかつた、其後次第に池が埋つて賑かな町になつた、とお玉のおんりやうが殘つて住む人に祟る、怪異が享保年間まで續いた、でやしろを建てゝお玉稻荷にした。稻[illegible]けは未だ殘つてゐる。

お玉が池には隨分有名な人が住んでゐたものだ、詩人では梁川星巖、大窪詩佛學者では勝田鹿谷、畫家では谷口月窓、鍬形惠齋、山田芳洲、擊劍家では千葉周作、柔術家では磯又右衛門などである、その中でも千葉周作は『お玉が池の先生』といはれて、リヤンコ社會一代の渇仰をうけた

北辰一刀流――或ひは眞影流ともいふ――では天下一品、初め淺利又七郎に就てその秘奧を究め自家の發明を加へて至域に達した

當時八丁堀の挑井春三、三番町の齋藤彌九郎（本所相生町の田久精一郎、講武所の師範役祿高千石、後下總守と稱ス）下谷泉橋の伊庭軍兵衛（星亭を刺した伊庭想太郎の父）と双び唱へられて、江戸の五大道場といはれたものだ、序に記して置くが、淺利又七郎といふ剣客は奧平家の師範役で剣に禪の極意を應用し、日本隨一と銘を打たれた達人であつたが、戀れば換るものでその孫は目下下谷で藝者をしてゐる中川家の榮姐さんがそれだ。

お蝶とお菊とは取あへずお萩婆さんを宿の遠州屋へ連れて來て着物を着せかへるやら何やら、心の限り待遇した。たつては一家を再興させるお菊の下心、或ひはお蝶も長く逗まつて江戸の人に、なりさうな樣子も見えた。併しそれは龍馬の事が解決されてから後の話で、翌々日の午後からひ千葉の道場を尋ねて見る筈であつたが、お菊は疲勞が出て寢込んだので明日まで待てといふのも肯かず、お蝶は一人で行くと言ひ出した、一心に情郎のことを思ひ詰めていることとなり、それも無理はないと察して氣儘に出して遣つたのがそも〱の間違だつた。

菓子折など用意して千葉の道場を尋ねた、

折よく先生は川越から今日戻られたといふ取次の口上で直ぐと空間に通された待つ程もなく千葉先生が出て來て面會した。

爪をかむ女

(23)

ヴィニア・デルマー作　堤光泰譯

リュセットが何とも返事しないうちに夫人はさつさと出て行つて仕舞つた、再び夫人は街をあちらへ渡つて行つた。それからリュセットには夫人が書棚を背にして立つたまゝ、しやべつてしやべつてしやべりまくつてゐる樣が見られた。

リュセットはハートをひつ掛けて、その靑綠色のドレスの入つた函を拾ひ上げると往來を橫切つたものだ

ジオイス夫婦は彼女が這入つて來たのが氣付かなかつた。ラルフは頭を兩手で抱へて机に向つてゐた、キ八はといふと、あらん限りの注意を彼の傾いた頭のところに並べてゐた。リュセットはそつとドアを閉ぢた

『それに、お父さんだつて妾がたかが十四弗のドレスも持てないと思つたら死ぬかもしれないわよ。すぐ拂へないから附けにするわけにいかないと仰言るのは、あなたが眞正直なのよ。だけどいゝわ、妾が着るもの一つないことなどお心配にならなくとも――』

リュセットは振り返へつドアをばたんと音を立てた。兩人が眼を上げた。

彼女はラルフへ

『奧さんが妾の店で信用取引をお始めになられますのあなたにはお氣に召さないのですの。どんな立派な方たつてさうなさつてゐるつてこと妾、保證しますわ。貸借取引決して恥なこと御座いませんわよ』

『あるですよ』

とラルフの聲はまるで雷だ。

『勘定が拂へないときにわ！』

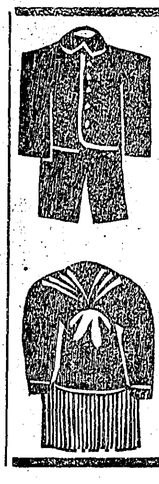
ね』

『あなたがこんなにいこぢでなけりあ拂へますわよ。もしそれ程妾のことをお氣になさるんなら安つぽい衣裳店の着物なんか着せなけりあいゝわ。――だが、これは別の事』

と最後で言ひ拔けて、夫人は、こんどはリュセットに向き直つて

『あなたも妾のために、そんなことで御心配御無用よ

出賣大服學通（通學服大賣出）



新學期も近づいて參りました。
坊ちやま孃ちやまの可愛らしい
通學服を色々取揃へて御座います。
◆男兒用
小倉服……80ヨリ
同特製……1.90ヨリ
紺サージ　3.60ヨリ
◆女兒用
紺サジセーラー服……3.60ヨリ
綿セルセーラー服……1.30ヨリ
防水マントモ種々取揃へて御座います。
ふかや洋服店　平二 電203

生徒募集
產婆。看護婦
今。入學の好時期
新學期は四月八日ヨリ
御希望の方は至急御申込みを
平南町 電話三〇七番
平產婆看護婦學校
校長 清野キヨ

小兒科・內科
特ニ乳幼兒ノ健康相談ニ應ズ。
滯留隨意
平町。ねずみ坂
渡邊醫院
電話一六一番

吸入用酸素
純度99%
度量衡
モノサシ　マス　ハカリ
計量器
体温器　寒暖計
◎秤ノ取替・緒・垂・糸・修・選致シマス
關內藥局
電話四〇番

前田醫院
院長 前田淸美
植田町電話一二四

安齋外科醫院
平町田町
電四七五番

學生カバン　ボーシ陳列
●責任ノ持テル丈夫ナ品●
小學生用　ランドセル　防水マントこ
女學生用　フイルト手提鞄
ツルヤ
電一四〇

外科全般
內科　小兒科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
（入院應需）
渡部外科

內外
建築材
建具材
入阿部材木店
磐城國平町（公園下）
電話四九四番

十日
体温計の檢査日です
お宅の体温計は？
新設檢査機
正確な体温計を御利用下さい……
每月十日の檢査日を御利用下さい
度量衡計量器指定販賣所
西村屋藥局
電三番

夜間診療
胃腸　梅毒
內科　十二指腸蟲病　專門
淋病　皮膚病　婦人病　專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）

產科
婦人科
花柳病科
午前宅診
午後往診
入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

耳鼻咽喉科專門
日本醫大院長醫學士 鈴木正男
齒科口腔外科
日本齒科科長醫學士 鈴木喜政
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

當面の炭況打開策に 鐵道運賃値下建議提案

鈴木代議士昨年來の熱意を繼續

郡選出代議士鈴木辰三郎氏が地方炭鑛當面の救濟策として昨年六月の臨時議會に石炭運賃値下げに關する建議案を外三名の同意を得て提出し同月十三日の本會議に於て提案理由を詳細說明したる旨當時報道の通りであるが其の熱意を繼續し本郡比佐、佐藤、茨城縣山崎中井川各代議士の賛成を求め昨十日再び衆議院に建議案を提出し今十一日同代議士から提案理由を說明した前回の提案理由一部を摘記すると大体次の如くである

提案理由の一部

永年不振を續け來つた炭況の打開は一に鐵道省が大正十三年高率なる引上を行ひたる儘になつて居る鐵道運賃の値下げに俟たねば到底其の目的を遂し得ぬ現況じある、即ち鐵道運賃の高率は消費地たる東京に近いに拘らず他方面との競爭に抗し得ず大正九年常磐炭の東京入着高が八十四萬噸で其の總輸入著高二百九萬噸の四割を占めたのが最近では僅に一割程度に激減した如き有樣である、而も當業者は炭價の下落に對應し極力生産費の低下に努め最近の生産費は好況時代の夫れに比して大に輕減されたりと雖坑夫賃銀が出示生産費の六割以上を占め其の賃金引下の困難なるは勿論ろ時勢の要求として鑛夫保護の爲め福利施設に要する經費の增加を餘儀なくさるる現狀に於ては最早山元生産費低減の餘裕全く失はれ從つて鑛夫賃金及諸拂の如きは數箇月間停滯し居れるもの多く此の購入物品代金の不拂と解雇坑夫の失業群とは不況の地方農村の苦痛を倍加し若し現狀の儘に推移せむか遂には炭鑛業者は悉く倒産し如何なる事態を惹起するや全く深憂に堪へない、今日若し鐵道運賃の引下を見むか常磐炭も他炭との競爭に堪へ得らるるを以て今後相當に販賣高の增加を期待し得べく斯くて炭鑛業者を救濟する事は直に地方農村の苦痛を輕減し殊に最近國家の大問題となれる養蠶及製糸業者の負擔輕減ともなる、今日信州岡谷方面の製糸業者は常磐山元一噸三圓以下の粉炭に對して四圓八十錢の鐵道運賃を支拂ひ居る。依て鐵道國有の精神に則り石炭輸送鐵道運賃の引下を斷行せらるる事を望む。

入遠野と高久へ 無集配局設置案

昨日鈴木代議士が建議

鈴木代議士は別項の石炭鐵道運賃値下げに關する分と同時に左記理由により入遠野、高久兩村に無集配局設置の件を衆議院に建議し今十一日前記同樣提案理由を說明した

提案理由概要

入遠野村は縣下有數の林産地として各方面との取引極めて頻繁なるに拘らず從來郵便取扱所の設置あるのみで金錢關係の事務を取扱はぬ爲地方民の不便少からず往々商機を逸する業の場合もあり斯業の發展を阻害さるる事多いので同村會でも嘗に全員一致の決議に基き取扱所昇格方を仙臺遞信局に稟請したがまだ之れが實現を見ず依つて速かに無集配局に改定され度い

高久村は近時産業の發達に伴ひ通信機關の必要切なるものあるも最寄郵便局は何れも二里以上の遠隔に在り村民の不便不利蓋し少からぬものがあるよつて速に同村中央に無集配を設置せられ度い。

磐中問題漸次軟化

有耶無耶に終る模樣

磐中橋本校長排斥運動は同窓生强硬幹部と三十三回卒業生とが合流し昨十日午後六時聲明書を發表し一居强硬な態度を持しつつあるが昨十日午後六時マルトモに開催された同窓會幹部の打合は阿部、新田目、加藤、柴田、清水、井上諸氏出席協議の結果十六名から上級學校の試驗も始る關係上父兄中前途を憂慮してる向が尠くないので同窓會としては穩に事件を解決し母校の刷新に就ては穩健な方法で校長に進言する事に決定した

鐵道員試驗

廿日平商で擧行

鐵道關係の採用試驗は二十日午前九時から平商校に於て行ふが既報の如く應募者約三百名中採用者は多くも五名と觀られてゐるが之は前回の合格者中約半數が就職して居らぬ關係で續々來る履歷書に頭痛鉢卷の形である

鶴田元磐炭顧問

北海道日支炭鑛に聘さる

前磐城炭鑛顧問技師鶴田勝三氏は今回空知郡三笠山の日支炭鑛(昭和鑛業)の技術顧問として招聘され渡道の途中一昨九日綴驛に下車磐炭鑛業所を訪れ昨十日午前八時出發した

三陸義捐金

△金十五圓—內郷村宮二業組合△三圓—磐炭社員大賀庄吉氏 今十一日平署へ

第四回郡下卓球大會

今冬棹尾の熱戰を豫想さる

平卓球協會主催大塚運動具店後援の第四回郡下OB卓球試合は明十二日午前十時から常磐銀行樓上に開催されるが昨十日迄の申込者三十二名に達し今冬棹尾の好試合として盛會を豫想されて居る、因に前年優勝者は同銀行の川角豐太郎氏であつた

。。。。。。入學願書締切迫る 磐中高女入學願書締切りは十五日に迫つたが目下高女一五〇、磐中一〇〇名何れも平からは出てゐないが昨年は磐中三八五、高女三七三であつた

豐年の貢六寸六分

大正十二年神谷農試分場開設以來の最高記錄

昨十日夜七時頃から降り始めた雪は深更に及んで益々烈しく神谷農試分場の調査に依れば今朝平地方平坦部の積雪實に六寸六分大正十二年の同場開設以來の新記錄であると共に地方では六十位の老人すら曾て經驗の無い事と云つてゐる、之の大雪に關し某農業技師は

雪は田畑の害虫を絕滅する外窒素、燐酸、加里を吸集し土壤の自然分解を行つて施肥の一助となる云々

豐年の貢なる古諺のいはれ無きに非るを語つた

轉轍機に故障

平保線區では大雪の爲に轉轍機が動かなくなつたので夜來總出動で雪掻きをなし列車の運轉に些の事故なかつた

滯納水道料整理好成績

平町では昨十日正午から七年度水道料二百十人金額三百二十圓の滯納差押物件の公賣を執行する筈であつたが當日迄七割近くの納入あつたので殘りを次回に繰越す事となつた

磐中人國記 (七)

赤井嶽男記

第八回生の卷 C

◇技師市川武長氏

AB二回に亘つて濕つぽい過去帳を繰つたが以下ビン〳〵組の銘々傳に入る。

イの一番市川武長氏は炭都內郷村內町の出身、幼來環境の感化から炭鑛生活が氣に入つたのか東北大學の工學專門部に採鑛冶金を修め北海道釧路町の太平洋炭鑛別保坑の技師として活躍して居る

◇ハルビンの箱崎氏

廣野の猪狩長氏は歩兵少尉の運送店主、而して青訓の指導員、豐間の箱崎文彌氏は山口高商を出て朝鮮銀行に入り今では往年ロシアが東清鐵道を敷設し北滿經營の策源地とした滿洲國吉林省の北西隅、松花江右岸の埠頭はハルビンの支店長たり、木戸の早川榮助、赤井の羽賀政雄、玉川の宮內(舊姓箱崎)久枝諸氏は何れも家業に勵精

◇上岡氏と大河原氏

地方教育界の大先輩たる內郷村御厩の太田義立氏の二男上岡直二氏は廣島高師を出て高知縣視學から磐中出身最初の中等學校長として阿藝高等女學校長となつたが最近勇退して扇港神戶の若松高等小學校長を勤務中。平町の金庫番として令名ある大河原收入役の男貫氏は外語の英語科を出て愛知商業の敎頭、從六位五等待遇、親父さん以て安心の態とある。

◇將來の町長小野氏

七回生の卷で記した記念すべき磐中最初のインタースクールマッチで仙臺一中や馬陵城下に活躍した植田町の小野忠衛氏は中根歐米町長以來數期の助役で政民何れでも良いと云ふ恬淡(?)が幸して將來の町長を約束されてる立場に在ると見るが至當、湯本角松の若松德三郎氏は陸軍部內の俊髦若松七郎大尉の舍兄、親讓りの財産で暢氣に暮らしてゐる。

◇朝鮮に加藤虎淸氏

三本槍でも持つて飛び出して來るやうな名前の持主である飯野出身加藤虎淸氏は他の學科をお留守にして全智能を數學に總動員した程の算數家で早稻田高等師範部の數學科を出て、虎嘯く朝鮮平壤公立高等普通學校の奉任敎諭。平舊藩の名門而して學者まけ鍋田三晶氏は仙臺高工を出て土木請負業

◇唯一の醫師木村氏

大野の木村(舊姓中野)源喜氏は仙臺醫專を出た八回生中唯一無二のお醫者さんで臺中州南投街に開業、商賣大に繁昌して懷ろ具合も正に常夏の國らしく、三丁目の砲兵少尉梅原幸助氏は先代を襲名して利三郎と改め米屋の老舖として同業者間に重きをなしつつ眞つ白になつて家業にいそしんで居る。

投檜

投書歡迎

。。。。。。所謂詩人諸君へ戒告

◇戀愛病患者か、神經衰弱患者の寢言見たいな事を書きならべて詩で御座ると、いやはや今時の若い奴等の押しの太いのには恐れ入る、もつと氣の利いたのが書けないものかネ、全く青山の腦病院に行つて患者の寢言を聞く樣なものだ

◇もつとも貧弱な頭から苦心して拈り出すんだらふから、詩の三つも作つたらタイテイ氣も變になるだろふが詩を作ろふナンテ言ふ量見を出すのは止して、も少し勉强したらどうだネ

◇尋常一年からやりなほす事だ『詩を作る奴等なんか皆んな頭が變なのかネ』なんて俺に尋ねた親父があつたが全く疑問をいだくのも無理がないヨ

◇どうです若い詩人樣、文學青年樣も少しガツチリしたのを發表しては、第一女に好かれないぜ、寢言の樣な詩なんか作つていては、どうしても詩を作りたいなら勉强するんだ、さもなきや三四年も靑山へ行けよ出世するぜ。(逸名氏)

五縣荒しの怪賊

白晝エロ町徘徊中 平署員に捕はる

昨十日午後一時半頃平町溝通りの私娼街を徘徊して居る男を平署員が引致取調ると右は好間村大館窃盜詐欺前科五犯根本梅治(三五)で昭和五年七月詐欺懲役三年の處刑を福島刑務所で服役中仲間を煽動して不穩の計劃をなした事發覺した爲網ぉ刑務所に移され昨年八月出所後再び惡事を企て寫眞屋から掻き集めた美人の寫眞を種に八日內郷村綴町內カフェーより石常鐵雄から女給を周旋すると手付金十一圓を詐取逃走其の足で湯本町大瀧屋旅館から衣類數點及貴金屬を窃取宿賃を踏んで逃走した外縣內を始め宮城、山形、茨城、栃木五縣に亘つて詐欺三十八件、窃盜十一件を働いた事自白した、各地に照會引續き取調べ中

東日福引抽籤

東京日日新聞讀者新年慰安福引抽籤會は明十二日午後一時より平町役場に於て開催すると

悉く遊興費消

盜んだ總額二千數百圓

同人は昨年二月中擧動不審で茨城縣松原署に拘留取調を受けたが强情に白を切り通した强か者で今回は料理店で一仕事する氣であつたと、尙同人は各所から盜んだ二千六七百圓を悉く遊興費消し僅か十數圓を殘して居たのみであると

小學校長會

水野視學官臨席

郡下小學校長會は今十一日午前九時から平第一校に於て開催、縣から水野視學官臨席左記事項に就て打合せたが來月の移動期を控へ一面首實檢の觀がある

(協議)學校に於ける國旗揭揚日並に方法 (報告)文部省主催全國小學校長會狀況、郡兒童競技會記錄 (打合)敎務主任會の調查による環境整理案利用、縣敎育館建設寄附金、實業敎育振興會、師範六十周年記念事業、公民敎育講座出席勸誘

川部缺食兒

現在三十名 匡救事業で七名減

川部小學校は山間部に於ける缺食兒童の最多校として現在三十名に對し四名の女敎員により給食してゐるが同村は小炭礦の休山が多いため缺食兒は坑夫の兒童に限られ最近は匡濟事業で七名を減じたと

底曳網に溺死体

去年の遭難漁夫か 江名町役場で假埋葬

江名町中之作漁業鈴木淸作所有底曳網は七日同町沖合で腐爛した男の溺死体を拗ひ揚げ平署で檢視の結果推定年齡三十五六死後三ケ月を經過したもので過般の大時化で遭難した漁夫らしいが身許不明役場で假埋葬に附した

。。泥醉 平町新川町鍛冶職高萩高三郎(四二)は今十一日早曉泥醉して松ヶ岡公園池に片足を踏込んで寢てゐるのを通行人が發見平署に屆け出たので署に連行醉の醒めるのを待ち嚴重說諭の上放還した

。。ヂフ 神谷村下神谷大澤金次(五)は昨十日ヂフテリアと決定した

磐城隧道龜裂修理

今月末完成の豫定

磐城山隧道は工事係大串技師監督の下に平保線直轄人夫十八名を使用して龜裂修繕中であるが現場にはコンクリート壁と壁を覆ふ土砂との間に空隙が生じてゐる事判明し今十一日から壓搾空氣で鑿孔の上コンクリート充塡作業に着手し遲くとも今月末迄に終了する豫定であるが大正十四年以來引續き莫大な經費を投じた該工事も今回を以て理想的の完成を見るであらうと

。。。。鎌田區改選 平町鎌田衛生區長及世話係は此程左の如く決定した 區長岡部淸一郎、世話係岡部粂之助、大槻喜代治、佐藤惣次郎、菊地兵藏

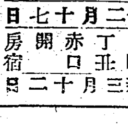
。。。。郡產組役員會 十四日午後一時から平團体事務所で

平町慶弔錄

△出生 一町目一五四白河郡白河町横町二山田正二女節子

△婚姻 三丁目五七齊藤三郎(二六)南町一九涌井ハヤ(二〇) 秋田市保戶野金砂町一四山形縣飽海郡酒田町寺町一七九三笠孝(三〇)白銀町二一矢島嘉(二四) 東京市荒川區町屋三丁目一二六〇神戶市神戶區中山手通四丁目五三小島勇市(二九)久保町二六德田チヨノ(二四)

△死亡 仲町一六東京市深川區平富町二丁目二田浦志郎(五八)鎌田町二四佐藤倉吉(七九)



諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神道館

舊二月十七日 日曜 丁丑 赤口 開 房宿 新三月十二日

▲一白の人 折角の望みも思ふやうに捗らず不快なる日 ▲二黑の人 何事もせい急が肝要しやかう心を起せば大敗あり ▲三碧の人 我意は一切無用たるべし金談成らず損あり ▲四綠の人 一時の苦勞は脫れたりとて油斷せぬが安全 ▲五黃の人 力を振はんとすれば失敗す定樂を守るべし ▲六白の人 伸力の盛なる日勉めて積極的に處理すべし ▲七赤の人 樂續次第に擴大すべし新事の計畫共他吉し ▲八白の人 愼重に進むべし一時のとんざに落膽せぬこと ▲九紫の人 縱横無盡に活動せらるゝ盛運の日勉むべし

江戸前

當店に於て自慢の 大蒲燒 割烹 壽司 開業以來

特に『都壽司』は江戶一流の職人を迎へて食通の皆樣方に御賞讃を頂きお蔭樣にて大繁昌をいたして居ります。

都壽司は魚榮と御思召して……御ひゐき下さる樣御願申上げます。

田町 魚榮 電話四二四番

內科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 皮膚、病 市原三二男
平町田町本通 市原醫院 (入院隨意) 電話一一四番

有給社員招聘

經驗ノ有無ヲ問ハズ奮鬪ノ士ヲ望ム
在鄕軍人退職官吏優遇
(初任者指導ス)
希望者ハ履歷書急送アレ
郡山市扇下三二番地
富國徵兵保險相互會社監督部
徵兵保險ハ相互ニ限ル本邦唯一ノ相互保險

磐城共濟病院案內

院長 醫學博士 石山謙郎 (自宅)電話一二四番
內科 醫學博士 石山謙郎
小兒科 醫局員 佐久間粹
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂重次
皮徽科 醫學士 有馬勇二郎
產婦人科 醫學士 五十嵐雄二 醫局員 佐久間粹
X光線科 醫學博士 石山謙郎 技師 工藤慶造
衛生試驗所 醫學博士 石山謙郎 技師 高後利雄
藥局 藥劑士 吉本孝平
△診療時刻午前八時より午後五時迄 但急患は此の限りに非ず
平町 磐城共濟會 電話六四一番

鹽豚(コーンポーク) 肉蒲鉾(ソーセージ) 田町 三二三 屋

平町六丁目 木村醫院 電話 三〇九番